



東京都教育相談センターだより

東京都教育相談センター
Vol.40 平成21年3月18日
東京都文京区本郷1-3-3
電話 03-5800-8545
FAX 03-5800-8402

保護者との信頼関係作り

学校と保護者が協働して子供を育てるための信頼関係を築くことは重要です。一方、「保護者との意見が合わず苦勞している」という学校からの声を聞くことがあります。

保護者の価値観の多様化、核家族化など、家庭を取り巻く社会環境の変化とともに、教育に対する考え方や学校に対する期待は様々となっています。また、保護者の中には子供の教育について相談できる人がいないため、悩みや不安を募らせている方も少なくありません。そこで今回は、学校と保護者との信頼関係作りについて考えてみました。

保護者と教師の見解が違う

- ◆ 家庭での生活と、集団生活が中心の学校では、子供が見せる姿が違います。
- ◆ 保護者と教師が意識的に子供の様子を伝え合わないと、それぞれに思い込みや行き違いが生じる場合があります。



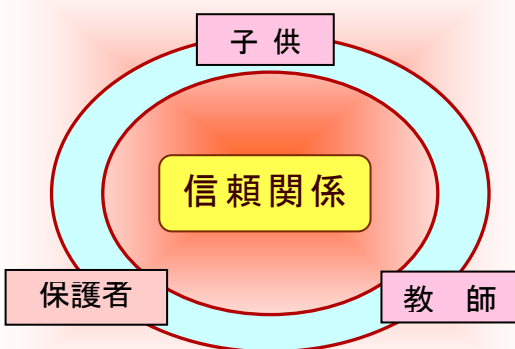
難しい
保護者との信頼関係が

信頼関係を築くために

- 教師の肯定的な姿勢
子供をよく理解し、よいところを伝える、子供を心配して声をかける等、子供の成長のために努力している教師の姿は、保護者から大きな信頼を得ることができます。
- 情報連携と行動連携
電話や手紙等での連絡や、来校における面談での情報提供と情報収集が大切です。
- 子供との関係を大切にする
子供と教師の良い関係は、保護者からの信頼を得ることができます。

◆ 信頼関係は日々の教育活動が基盤 ◆

子供の成長を願う協力・連携



保護者の思い

- 保護者や学校に隠れて悪いことをしていないだろうか
- クラスには友達がいるだろうか
- 先生は我が子を理解してくれているのだろうか
- 授業についていけているだろうか
- 進級・卒業できるだろうか

【教師の基本的な姿勢】

- 保護者のこれまでの努力を認めながら、考えや気持ちを傾聴・共感します。
- 保護者の多様な教育観を理解します。
- 子供の課題のある行動に対し、具体的に助言しながら、保護者が主体的に取り組めるように支援します。
- 教師が一人で対応するのではなく、管理職、主幹、主任、関係する教諭と連携して対応します。
- 学校と保護者が共に情報交換しながら、協力し合って子供を見守ります。

【保護者とのかかわりの基本】

傾聴・共感・整理

- 電話や手紙のやり取りだけでなく、必要であれば面談で学校の考えを伝える。
- 保護者の思いを十分に聴きながら、学校の考えを整理して示す。
- 保護者には、「いつまでに、何をするか」を明確に伝える。

具体的な提案

- 真意を伝えるために、「早めに」「直接、会って」、解決に向かう具体策を丁寧に伝える。
- 学校での取組みや子供の姿容については適宜連絡し、保護者との情報交換と共通理解を図る。

東京都教育相談センター公式モバイルサイトの紹介

○東京都教育相談センターでは、携帯電話で閲覧できる専用サイトを設置しています。

○次のアドレス又はQRコードから御覧ください。

<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/m/>



電話相談のご案内

心理専門職(臨床心理士等)及び学校教育を専門とする相談員が相談に応じます。

○電話相談 ○高校進級・進路・入学相談 < 専用電話 03-5800-4175 >

○(平日)午前9時から午後9時まで ○(土・日・祝日)午前9時から午後5時まで対

相談窓口 03-5800-8008

いじめ相談ホットライン (24時間対応) 03-5800-8288

教育相談

不登校、集団不適應などの子供の問題、子供の学校(園)生活に関する相談や、いじめの問題や学校の指導・対応に関する相談ができます。



高校進級・進路・入学相談

都立学校の進級、進路、入学に関する相談及び高等学校卒業程度認定試験等にかかわる相談及び情報提供等ができます。

青少年リスタートプレイス

高等学校を中途退学した方やその保護者を支援しています。これからの生活や進路選択等でお悩みの方は、是非ご相談ください。